

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公開番号】特開2000-202114(P2000-202114A)

【公開日】平成12年7月25日(2000.7.25)

【出願番号】特願平10-354353

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 7/02 3 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パチンコ機の裏面に配設される機構板に設けられた球タンクから球払  
出装置にパチンコ球を整列して導く球供給通路を有するパチンコ機の球誘導樋において、

前記球供給通路の通路幅をパチンコ球が2個並ばない程度でジグザグ状に並ぶ幅広とし  
たことを特徴とするパチンコ機の球誘導樋。

【請求項2】 球タンクの底壁に開設された開口に前記球供給通路を形成したことを  
特徴とする請求項1記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項3】 前記供給通路の上面を拡開開放したことを特徴とする請求項1または  
2記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項4】 前記供給通路を仕切壁により複数設けると共に、該仕切壁を高くして  
互いの球供給通路のパチンコ球の干渉を受けないようにしたことを特徴とする請求項1,  
2または3記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項5】 前記供給通路の底壁を断面山形にしたことを特徴とする請求項1ない  
し4記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項6】 前記供給通路に異傾の傾斜通路部を設けて段状にしたことを特徴とす  
る請求項1ないし5記載のパチンコ機の球誘導樋。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係るパチンコ機の球誘導樋は、パチンコ機の裏面  
に配設される機構板に設けられた球タンクから球払装置にパチンコ球を整列して導く球  
供給通路を有するパチンコ機の球誘導樋において、前記球供給通路の通路幅をパチンコ球  
が2個並ばない程度でジグザグ状に並ぶ幅広とし、補助通路を兼ねるようにした。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、球タンクの底壁に開設された開口に前記球供給通路を形成した。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、球供給通路20の通路幅wを広くすることで、重なるパチンコ球の高さが低くなるため、球誘導樋9を上方に上げることができ、それに伴い窓部7を大きくすることができる。このため、パチンコ機の遊技内容が高度化し、可変表示装置6やその遊技内容を制御する回路基板が大きくなり、それに伴ってその回路基板を収納する基板ボックス4が大きくなっても十分に対応できる。なお、本実施の形態では球供給通路の通路幅wを約20mmとして説明したが、13mmからパチンコ球が2個並ばない程度の範囲内であればよい。